

## 「日々のパン」を分かつにあたり

主イエスが導かれた祈りに「私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください」とあります。「日ごとの糧を」、「日々のパン」、に置き換えました。体をつくるパンを日ごとに求め生活します。同様にこころと体を生かすいのちの糧、みことばを父なる神に日々求めなさいと導きます。

私たちに必要不可欠ですから、主イエスはこの祈りを先導してくださいませ。お与えください、と積極的に祈ります。いつも最善のものを私たちに与えてくださる父なる神がおられるから祈れます。

「日々のパン」は「今日の福音」を口ずさむ歩みから生まれた祈り、歌、感謝、恵み体験を言葉化する試みです。それにより、隣人と分かち味わうことが出来ます。私の「今日の福音」は、例えば「悲しむ者は幸いです」としましょう。このみことばと対話（黙想）しながら過ごした一日の果実を他者と分かち合うコーナーが「日々のパン」の意図です。また、気になったみことばをこころのフックに掛け、黙想することから生まれることでもよいでしょう。

さて、主イエスが導く祈りは、個人に留まらず「私たち」となります。一人で祈るかもしれません。遠く離れて祈るかもしれません。しかし、祈るのは「私たち」です。この群れ、この国の群れ、世界の群れと共に祈っているのです。

一人ひとりに語り掛け、耳を傾け、お応えくださる父なる神がおられます。皆さんが置かれた生活の場で「今日の福音」を黙想し味わい、そこから生まれる言葉を投稿してみてもはいかがでしょうか。「私たち」の祈りの一片、「日々のパン」「今日の福音」をいただいた味わいの一片を投稿しようと思われる方たちが投稿してくださればよいでしょう。

主イエスが導いてくださった祈り「私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください」と祈り、みことばをお与えになる父なる神と対話し、交わり、いただいたこころに刻まれた「日々のパン」を分かつのはどうですか。栄光在